

(様式1・小学校用①)

# 令和4年度 学校評価報告

草加市立新栄小学校

(令和5年2月3日作成)

<b>1 学校教育目標</b> なかよく : 豊かな人間性とコミュニケーション かしこく : 学ぶ意欲と確かな学力 たくましく : 心身の健康と体力 【目指す学校像】 一人ひとりの子どもが輝く学校	
<b>2 重点目標・努力目標</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 確かな学力を育む教育の推進</li><li>・ 豊かな人間性とコミュニケーション力を育む教育の推進</li><li>・ 体力向上・健康教育の継続</li><li>・ 一人ひとりに応じた生徒指導・教育相談の推進</li><li>・ 安全で潤いのある教育環境づくり</li><li>・ 地域とともに歩む開かれた学校づくりの推進</li><li>・ 学校事故の防止と教職員事故の根絶</li></ul>	<b>3 前年度の成果と課題</b> 成果 ○保護者の学校評価アンケートで多くの項目で高評価を得た。(19項目中15項目) ○ICTを活用したオンライン学習の定着や、感染対策に配慮した教育活動の展開 課題 ●主体的に学びに向かうための授業改善、基礎学力の定着、基本的な生活習慣の改善

<b>4 評価表</b> ※評価基準 [A : 十分達成している B : おおむね達成している C : やや不十分である D : 不十分である]				
領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
I 学校運営に関するもの	①組織運営	・ 学校経営目標、方針 ・ 校務分掌組織 ・ 適所への適材配置 ・ 職員会議等の運営 ・ 予算の執行・決算、監査等	A	○学期ごとに学校経営の重点を確認し、重点を意識した教育活動が展開できた。 ○校務分掌を適切に振り分けたことで、各部署が有機的に機能し、効果的な教育活動に結びついた。
	②研究・研修	・ 研究組織、計画、実施 ・ 校内研修の推進 ・ 授業改善への取組 ・ 校外研修会への参加 ・ 人材育成	A	○全学級の研究・公開授業を行い、教師一人一人が研究テーマに迫る授業づくりを研究し、授業改善に取り組んだ。 ○2年間の研究成果を市委嘱研究発表会として市内外に発信できた。
	③保健管理・安全管理	・ 保健計画、安全計画 ・ 環境衛生の管理 ・ 健康観察、安全点検 ・ 緊急事態発生時の対応 ・ 危機管理マニュアルの作成・活用	A	○全学級の出欠状況の把握や、早退勧告、感染者の聞き取り等、日々迅速に行い、校内における感染拡大を防止した。 ○登下校状況の把握と指導を行い、安全な登下校の環境を整備した。
	④情報管理・施設設備管理	・ 個人情報の管理、保護 ・ 施設設備の管理と有効利用	B	○規定に従い、個人情報の管理を日常的に行っている。 ○毎月、各担当で安全点検を行い、危険箇所把握と速やかな補修に努めたり、修繕依頼を行ったりした。
	⑤地域との連携 開かれた学校	・ 学校情報の発信 ・ 学校公開の実施 ・ 学校運営協議会の推進 ・ 地域、校種間連携 ・ PTA活動の活性化	B	○学級単位の発表や入場制限を工夫し、3年ぶりにユリノキ発表会を開催し、保護者に公開することができた。 ○協議検討を重ね、PTA主催の新栄小まつりを開催することができた。
	⑥幼保小中を一貫した教育	・ 目指す子ども像の共有 ・ 15年間を通じたカリキュラムの編成 ・ 一貫教育推進のための組織づくり	B	○夏季に合同研修会を再開し、部会や研究発表の内容について協議を重ねた。 ○学校代表が主体となり、各校・各園との情報共有を密にし、目指す子ども像を共有することができた。

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
II 教育活動に関するもの	①教育目標・教育計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>15年間を通じたカリキュラムの編成、実施</li> <li>教育計画の作成</li> <li>教育活動の評価</li> <li>目標、方針の周知</li> <li>授業時数の配当、確保</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○PDC Aサイクルに基づき見直し、改善を加えた活動を行うことができた。</li> <li>○活動制限のある教科についても現況を把握し、教育活動の工夫、改善を行った。</li> </ul>
	②教科指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導計画の立案</li> <li>主体的・対話的で深い学びの観点に立った授業改善</li> <li>評価、評定の工夫</li> <li>外部人材の活用</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○導入の工夫・ICTの活用・ゴールの明確化を学校全体で研究し、児童が主体的に授業に参加することができる授業改善を組織的に行った。</li> </ul>
	③道徳教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体計画の作成</li> <li>各教科との関連</li> <li>道徳的実践力の育成</li> <li>家庭、地域社会との連携</li> <li>いのちの教育の推進</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業研究会を通して「考え、議論する」道徳の授業展開について理解を深めた。</li> <li>○学級における指導計画に沿って日々の道徳教育を行っている。</li> </ul>
	④外国語・外国語活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導計画の立案</li> <li>指導方法の工夫と改善</li> <li>評価、評定の工夫</li> <li>各教科、道徳教育との関連</li> <li>中学校との連携</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業内での指示や声かけの言葉も外国語で行う機会を増やすよう努めるなど、工夫を加えながら外国語の授業を展開することができた。</li> </ul>
	⑤特別活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導計画の立案</li> <li>学級活動、学級経営</li> <li>学校行事</li> <li>児童会活動</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各学級内で児童同士が考え、力を合わせて練習するなど、児童一人一人が主体的に取り組んだ姿をユリノキ発表会において発表することができた。</li> </ul>
	⑥「総合的な学習の時間」の指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導計画の立案</li> <li>指導内容の充実</li> <li>指導方法の工夫と改善</li> <li>評価の工夫</li> <li>地域の人材・物的資源の活用</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域人材・関係機関との連携を図り、草加市の魅力に触れる機会の充実を図ることができた。</li> <li>○指導計画・指導内容の見直しを図り、学年に応じた指導をすることができた。</li> </ul>
	⑦生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>組織的な生徒指導</li> <li>問題行動への対処</li> <li>教育相談、児童理解</li> <li>いじめ防止対策</li> <li>保護者、地域、諸機関との連携</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○いじめに関して積極的な認知を行い、迅速な情報収集・情報共有・組織的な対応・経過観察を丁寧に行った。長期化するいじめや問題行動の件数は0であった。</li> </ul>
	⑧キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画の立案</li> <li>指導内容の充実</li> <li>中学校との連携</li> <li>啓発的経験の充実</li> <li>家庭、地域との連携強化</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○キャリアパスポートによる発達の記録と蓄積が全学年で定着した。さらにパスポートを活用した学級活動により、キャリアへの意識付けが図られた。</li> </ul>
	⑨特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別の指導計画、支援計画</li> <li>指導方法の工夫と改善</li> <li>通常学級との交流</li> <li>諸機関との連携</li> <li>校内支援体制の整備</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○特別支援学級との交流・共同学習の推進や通常の学級における特別に支援の必要な児童への支援を家庭や教育支援室との連携のもと行うことができた。</li> </ul>
	⑩学校図書館教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導計画、支援計画の作成</li> <li>図書館補助員の活用</li> <li>諸機関との連携</li> <li>図書館の整備</li> <li>図書館利用の工夫</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○設備の入替に伴う貸出中止期間があったが図書館利用促進のイベントを多数開催し、年間を通じて児童の読書への意欲を高めることができた。</li> </ul>
	⑪情報教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育計画の作成</li> <li>校内研修の充実</li> <li>ICT機器の積極的な活用</li> <li>情報モラル教育の推進</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○タブレット端末を用いた授業や大型提示装置の使用等、ICT使用が日常化した。</li> <li>●バージョンアップに伴う仕様の変更を全教職員に周知、対応の徹底が必要。</li> </ul>
	⑫人権教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体計画の策定</li> <li>各教科との関連</li> <li>人権感覚の育成</li> <li>校内研修の充実</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○人権感覚育成プログラムを活用した授業を実践し、人権意識を醸成した。</li> <li>●社会情勢の変化による新たな人権・モラルに関する迅速な対応や指導が必要。</li> </ul>

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
Ⅲ 特色ある学校づくり	①食育	・多種多様な給食活動	B	○感染防止ボードを含む12の約束を守りながら安全な給食活動を行った。 ●交流給食に代わり、誕生月お祝いケーキを出しているが、別の取組を検討・実施する余地がある。
	②安全安心・美のある学校	・安全で美しい環境整備	B	○年2回の植栽ボランティアとの交流活動に保護者ボランティアの方が加わり、1年中、花の絶えない学校となるよう学校・地域・保護者一体となり努めた。 ●ボランティアの確保。

**5 総合評価** (学校関係者評価を含む)

- ・保護者の学校評価アンケートでは、「できている」「だいたいできている」の好評価(90%以上)を得た項目が19項目中15項目と昨年度同様であった。家庭学習チャレンジ週間の設定や丁寧な例示等により、自主学習へ取り組む割合や内容の向上が見られた。近年の課題の一つである「整理整頓」では「できている」が5%上昇した。
- ・昨年度に続き、校内研究授業の7回実施に加え、全教員が研究主題に迫る授業を公開し、授業改善に向けて全校挙げて取り組んだ。ICTの活用・導入の工夫・ゴールの明確化について市委嘱研究発表会にて市内外に発信できた。
- ・感染対策の徹底と児童の活躍をより間近で感じてもらうための学級単位によるユリノキ発表会は、大変多くの好評をいただくことができた。
- ・保護者や地域の方が見守る安全・安心の中で大きな事故もなく、児童は安全な登下校ができています。「安全で安心な学習環境」の項目でも99%の高い評価を得ることができた。

**6 次年度の改善策**

- ①埼玉県及び草加市学力学習状況調査の結果から、第5学年は国語・算数ともに学力を伸ばしたものの、他の学年では横ばいまたは県や市の平均を下回る状況にある。今年度一教師一授業公開を行い授業改善を図り研究発表会で発表した成果を生かし、全ての児童が主体的に授業に参加し、基礎学力の定着や向上に学校全体で取り組んでいく。
- ②近年の課題の一つである基本的な生活習慣「6時30分起床」では、依然減少が続いている。「早寝早起きの指導」ではなく、スマートフォン・ゲームの過度な使用・依存との関連・学習の定着との関連と合わせて指導・啓発していく。
- ③あいさつ運動などの取組により、校地内でのあいさつは活発化してきたが、地域の方へのあいさつの意識が希薄である。懇談会・面談等の機会を活用し、家庭の協力を得ながら改善を図っていく。